

(1) 6 : 9**答え : 2 : 3**

- 6と9は、どちらも **3の倍数**。
 - なので、両方とも **3で割る**。
 - $6 \div 3 = 2$
 - $9 \div 3 = 3$
 - よって、**2 : 3**
-

(2) 12 : 18**答え : 2 : 3**

- 12と18は、両方とも **6で割れる**（最大で割るとラク）。
 - $12 \div 6 = 2$
 - $18 \div 6 = 3$
 - よって、**2 : 3**
-

(3) 21 : 35**答え : 3 : 5**

- $21 = 3 \times 7$
 - $35 = 5 \times 7$
 - 両方に **7** が入っているので、**7で割る**。
 - $21 \div 7 = 3$
 - $35 \div 7 = 5$
 - よって、**3 : 5**
-

(4) 24 : 32**答え : 3 : 4**

- $24 = 8 \times 3$
- $32 = 8 \times 4$
- 両方に **8** が入っているので、**8で割る**。
 - $24 \div 8 = 3$

- $32 \div 8 = 4$
 - よって、 $3 : 4$
-

(5) $15 : 27$ **答え： $5 : 9$**

- $15 = 3 \times 5$
 - $27 = 3 \times 9$
 - 共通の数は 3 。
 - 両方を 3 で割る。
 - $15 \div 3 = 5$
 - $27 \div 3 = 9$
 - よって、 $5 : 9$
-

(6) $8 : 20 : 12$ **答え： $2 : 5 : 3$**

- $8 = 4 \times 2$
 - $20 = 4 \times 5$
 - $12 = 4 \times 3$
 - 3つすべてに 4 が入っているので、 4 で割る。
 - $8 \div 4 = 2$
 - $20 \div 4 = 5$
 - $12 \div 4 = 3$
 - よって、 $2 : 5 : 3$
-

(7) $18 : 24 : 30$ **答え： $3 : 4 : 5$**

- $18 = 6 \times 3$
- $24 = 6 \times 4$
- $30 = 6 \times 5$
- 共通の数は 6 。

- 6で割る。
 - $18 \div 6 = 3$
 - $24 \div 6 = 4$
 - $30 \div 6 = 5$
 - よって、 $3 : 4 : 5$
-

(8) $0.6 : 0.9$

答え： $2 : 3$

小数はやりにくいので、**10倍して整数**にしてから約分すると楽です。

- $0.6 \times 10 = 6$
- $0.9 \times 10 = 9$
→ $6 : 9$ になった。

$6 : 9$ は、(1)と同じで **3で割る**。

- $6 \div 3 = 2$
- $9 \div 3 = 3$
→ $2 : 3$

※「比なので、両方に同じこと（ $\times 10$ ）をしても意味は変わらない」

(9) $1.2 : 0.8$

答え： $3 : 2$

これも小数なので、**10倍して整数**にします。

- $1.2 \times 10 = 12$
- $0.8 \times 10 = 8$
→ $12 : 8$

12 と 8 は **4で割れる**。

- $12 \div 4 = 3$
- $8 \div 4 = 2$

よって、 $3 : 2$

(10) $3/4 : 5/6$

答え：9 : 10

分数どうしの比は、**分母をそろえて**しまうと簡単です。

4と6の最小公倍数は12。

両方に12をかけます（比なので同じことをしてOK）。

- $(3/4) \times 12 = 3 \times 3 = 9$
- $(5/6) \times 12 = 5 \times 2 = 10$

→ 9 : 10

7. 合計ぶん→1ぶん→配分

コツ（3ステップ）

- ① 「合計ぶん」＝比の数字をぜんぶ足す
- ② 1ぶん＝「合計の量 ÷ 合計ぶん」
- ③ それぞれ＝（その人のぶん）×（1ぶんの量）

(1) 360円を1 : 2 に分ける

答え：A = 120円、B = 240円

ステップ① 合計ぶん

1 : 2 → 合計は

1 + 2 = 3ぶん

ステップ② 1ぶんの金額

360円を3ぶんで分けるので

- 1ぶん = $360 \div 3 = 120$ 円

ステップ③ それぞれの金額

- Aは1ぶん → $1 \times 120 = 120$ 円
- Bは2ぶん → $2 \times 120 = 240$ 円

(2) 48冊を2 : 3 : 1 に分ける

答え：2組 = 16冊、3組 = 24冊、1組 = 8冊

合計ぶん

$$2 + 3 + 1 = 6\text{ぶん}$$

1ぶんの冊数

$$48 \div 6 = 8\text{冊}$$

配分

- 2のクラス： $2 \times 8 = 16\text{冊}$
 - 3のクラス： $3 \times 8 = 24\text{冊}$
 - 1のクラス： $1 \times 8 = 8\text{冊}$
-

(3) 600g を 3 : 2 に分ける

答え：兄 = 360g、弟 = 240g

合計ぶん

$$3 + 2 = 5\text{ぶん}$$

1ぶんの重さ

$$600 \div 5 = 120\text{g}$$

配分

- 兄： $3 \times 120 = 360\text{g}$
 - 弟： $2 \times 120 = 240\text{g}$
-

(4) 1,200mL を 1 : 2 : 3 に分ける

答え：A = 200mL、B = 400mL、C = 600mL

合計ぶん

$$1 + 2 + 3 = 6\text{ぶん}$$

1ぶんの量

$$1,200 \div 6 = 200\text{mL}$$

配分

- A： $1 \times 200 = 200\text{mL}$
- B： $2 \times 200 = 400\text{mL}$
- C： $3 \times 200 = 600\text{mL}$

(5) 40人 を 3 : 2 に分ける

答え : A班 = 24人、B班 = 16人

合計ぶん

$$3 + 2 = 5\text{ぶん}$$

1ぶんの人数

$$40 \div 5 = 8\text{人}$$

配分

- A班 : $3 \times 8 = 24\text{人}$
- B班 : $2 \times 8 = 16\text{人}$

(6) 2,400円 を 5 : 3 : 2 に分ける

答え : P = 1,200円、Q = 720円、R = 480円

合計ぶん

$$5 + 3 + 2 = 10\text{ぶん}$$

1ぶんの金額

$$2,400 \div 10 = 240\text{円}$$

配分

- P : $5 \times 240 = 1,200\text{円}$
- Q : $3 \times 240 = 720\text{円}$
- R : $2 \times 240 = 480\text{円}$

(7) 90m を 3 : 4 : 5 に切る

答え : 22.5m、30m、37.5m

合計ぶん

$$3 + 4 + 5 = 12\text{ぶん}$$

1ぶんの長さ

$$90 \div 12 = 7.5\text{m}$$

$$(90 \div 12 = 45 \div 6 = 7.5)$$

配分

- 3ぶんのロープ： $3 \times 7.5 = 22.5\text{m}$
 - 4ぶんのロープ： $4 \times 7.5 = 30\text{m}$
 - 5ぶんのロープ： $5 \times 7.5 = 37.5\text{m}$
-

(8) 1,000点を4：1に分ける

答え：A = 800点、B = 200点

合計ぶん

$$4 + 1 = 5\text{ぶん}$$

1ぶんの点数

$$1,000 \div 5 = 200\text{点}$$

配分

- A： $4 \times 200 = 800\text{点}$
 - B： $1 \times 200 = 200\text{点}$
-

(9) 72ページを3：2：1に分ける

答え：X = 36ページ、Y = 24ページ、Z = 12ページ

合計ぶん

$$3 + 2 + 1 = 6\text{ぶん}$$

1ぶんのページ数

$$72 \div 6 = 12\text{ページ}$$

配分

- X： $3 \times 12 = 36\text{ページ}$
 - Y： $2 \times 12 = 24\text{ページ}$
 - Z： $1 \times 12 = 12\text{ページ}$
-

(10) 210個を人数7人・5人・3人に比例して分ける

まず、「人数に比例して」なので

比は7：5：3と考えるよ。

答え：A = 98個、B = 70個、C = 42個

合計ぶん

$$7 + 5 + 3 = 15\text{ぶん}$$

1ぶんの個数

$$210 \div 15 = 14\text{個}$$

配分

- A（7人のグループ）： $7 \times 14 = 98$ 個
- B（5人のグループ）： $5 \times 14 = 70$ 個
- C（3人のグループ）： $3 \times 14 = 42$ 個

合計も $98 + 70 + 42 = 210$ 個 でぴったりです 

まとめの「おまじない」

比の簡単化（約分）

- 両方（全部）を **同じ数** で割ってOK
- 小数は10倍・100倍してから約分
- 分数は分母の最小公倍数をかけて、整数にしてから約分

合計ぶん→1ぶん→配分

1. 比の数字を全部足して「**合計ぶん**」
2. 合計の量 ÷ 合計ぶん = **1ぶんの量**
3. 各人・各班のぶん × 1ぶんの量 = **分ける量**

もし、どれか1問でも「ここがまだモヤモヤする」というところがあれば、その問題の番号を教えてください。

そこだけをさらに図やたとえ話を使って、もっとかみくだいて説明します 